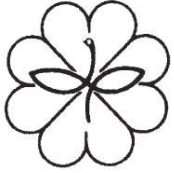


みんじん堺

第 67 号

発行 令和4年6月
堺市民生委員会
発行 児童委員連合会
住所 堺市堺区南瓦町2番1号
電話 072-232-5420
発行 堺市民生委員会
責任者 児童委員連合会
会長 中辻さつ子



支えあう 住みよい社会 地域から

特集:新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等
に対する見守り及び安否確認を実施して



堺市総合防災センター

災害から命を守る施設 ~学び・訓練し・備える~

あいさつ

会社勤めを終えた頃より、小学生の登校見守りを始めた。一番の目的は、朝定刻に起きて1日を始めることである。1日も休まずということではないが、かれこれ10年は続いている。

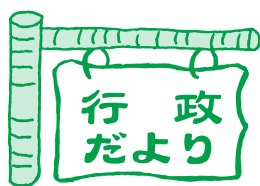
毎年2月に小学校で感謝集會が開かれ、お礼の言葉を綴ったしおりをプレゼントされる。この2年間はコロナ禍のため、集會なしで、しおりだけいただいた。

3学期も終わり頃の朝、いつも通り見守りに立っていると、6年生の女の子2人が私の前でお辞儀

をしながら「6年間見守りありがとうございました」とお礼の言葉を述べた。「ああ、見守りをしてよかったな」と感激した瞬間であった。



数日後、堺西保護司会の会報『つながる』に挨拶に関する作文を見た。社会福祉協議会会長賞に輝いた6年生女子の作文である。「挨拶でパワーを送る。そしてもらったパワーは挨拶で返す」という趣旨の作文であった。その通り、わたしも明日からパワーをこめて「おはよう!行ってらっしゃい」と言うことにしよう。 連合会副会長 龍野 信隆



誰一人取り残さない社会の実現に向けて

堺市子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども企画課 課長 安田 佳代

民生委員児童委員の皆さまにおかれましては、平素から本市児童福祉行政の推進にご協力賜るとともに、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により日々の活動が制限される中、地域における子どもの健全育成活動や母子保健活動を支援していただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

近年、子どもの貧困が社会問題化しています。7人に1人の子どもが貧困状態にあり、経済事情などから、教育の機会を得られなかったり、地域や社会から孤立したりするなど、様々な面で不利な状況に置かれてしまう傾向にあると言われていいます。そのような中で、堺市では、令和3年度か

ら「子どもの未来応援チーム」を立ち上げ、組織横断的に子どもの貧困対策に精力的に取り組んでいるところです。

生活に困窮されている児童をはじめ、困難な状況にある家庭を早期に把握し、効果的な支援を実施していくためには、民生委員児童委員の皆様の日頃からおこなっていただいている見守りや、行政や関係機関などとのパイプ役としての役割が大変重要なものとなります。

今後とも引き続き、堺市に暮らす全ての子ども・子育て家庭の皆様が安心して豊かに暮らせる活動の推進に、堺市と一丸となって、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

南区

“屋外”と“IT”

新檜尾台校区 森嶋 直子

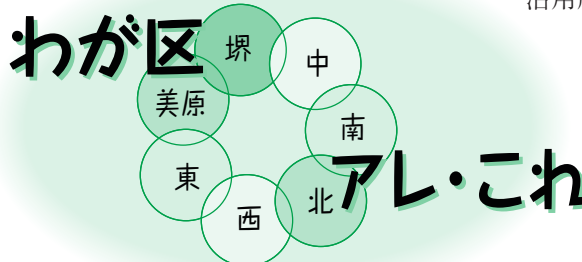
コロナ禍を見据え、新たな活動展開を模索しています。

一つ目は、自粛中に唯一活発になった“屋外での活動”です。南区は公園・緑道が整備され、自然の中を安全に歩くルートがたくさんあることが幸いでした。定期的にウォーキングや太極拳、ヨガ、ラジオ体操をしているグループもあります。室内で行っていた活動の一部を屋外ですることや、屋外での集いの場を新たに企画することは、検討の余地がありそうです。

二つ目は“ITの導入”です。社協南区事務所のお力添えをいただきながら、委員長会の連絡方法にLINEを取り入れ、スマホのスキルアップを

企画しています。定例会やサロンをZoomで実施したり、近隣の高校生や大学生を講師に招きスマホ講座を実施した校区もあります。スマホが一般化したら、見守り活動などにも活用応用可能でしょうか。

新たな体制での活動を紹介しあって、より有意義で楽しい活動を続けていきたいと願っています。





専門委員会だより

子ども家庭フォーラム

主任児童委員会報告

3年前までは、当たり前のように開催してきた「子ども家庭フォーラム」。

西区では毎年「西区子育て支援関係者会議運営委員会(注)」が中心となり、子育て中の保護者に対し、講演会を企画・実施してきました。令和2年度、コロナ感染症が広がる中、開催自体が危ぶまれましたが、こんなときだからこそ、孤独になりがちな子育て世帯とつながる工夫が必要との声も大きく、話し合いの結果、オンライン(Zoom)・ライブ配信のみで、講演会を開催することになりました。運営委員会の開催自体も、コロナ感染症の影響で少なくなっていく中、助産師の中村礼子氏の「いのちはどこからきたの?」と題した講演会を令和3年1月にやっと開催することができました。その後、運営委員会の参加者も、上記講演会の録画の視聴(期間限定)をし、研修をすることもできました。

令和3年度は、さらに参加者を増やすため、ライブ配信(Zoom)または録画配信(YouTube)と、選択肢を増やし、令和4年2月に富田久子氏の「子育ても『山あり谷あり』だけど…～育児真っ最中の親たちの叫びから～」と題した講演会を開催できました。(写真)

民生委員児童委員長から、自分たちも講演を聞きたいとの要望があり、各校区の主任児童委



員が校区内の子育てサロン・サークルと連携し、全体研修会として、講演会の録画視聴を広めました。民生委員児童委員の参加はおよそ120名となり、従来の全体研修会が大きく広がり、西区全体として、子育て支援の輪がより強くつながった結果となりました。

この2回の子ども家庭フォーラムの計画・実施にあたり、子育て支援課、社協西区事務所の大きな協力の下、オンライン講演会や録画配信及び視聴のスキルがあがり、アフターコロナの生活スタイルに合うフォーラムの形ができつつあると感じました。

今の子育て世帯のみなさんが気軽に、簡単に参加できる「子ども家庭フォーラム」になることをめざしています。

(西区主任児童委員長 濱中 和代)

(注)「西区子育て支援関係者会議運営委員会」とは
各校区サロン・主任児童委員・区内保育所(園)・区内幼稚園・区内幼保連携型認定こども園・子育てアドバイザー・みんなの子育てひろば・社協西区事務所・西図書館・西保健センター・子育て支援課など、子どもにかかわるたくさんの機関で作っている団体です。

第27回 堺市民生委員児童委員大会

日時: 令和4年7月5日(火) 午後1時30分(受付: 12時30分より)
場所: 堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)大ホール

第2部 講演

テーマ: 地域の中での居場所づくり～全国の子ども食堂の取り組みから～
講師: 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠氏

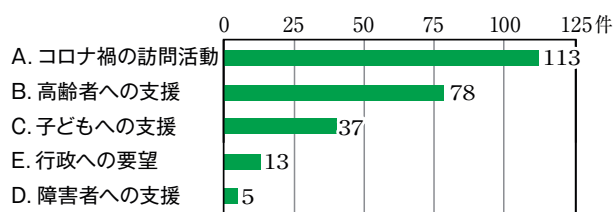
特集 新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等に対する見守り及び安否確認を実施して

緊急事態宣言の発出等により外出自粛し孤立や不安を抱えている高齢者・障害者等へ、民生委員児童委員・主任児童委員が見守り活動を3回にわたって実施しました。

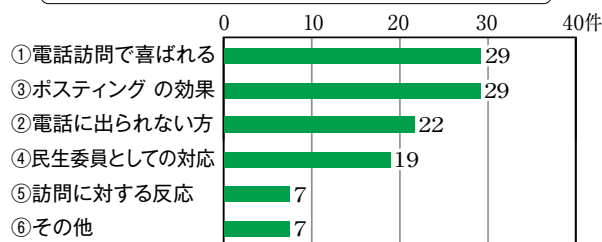
堺市避難行動要支援者一覧表登載者(約2万人)や「お元気ですか訪問」等で日ごろ見守っている方などに対する、電話等による見守り及び安否確認です。

この特集は、令和3年4月～5月に実施した第3回目の活動(ワクチン接種の案内を含む)において参加した1,025人の委員から実施報告書に寄せられた「見守り・安否確認 エピソード」と「ワクチン エピソード」を紹介します。

1. 見守り・安否確認 エピソード (総件数 246件)



A. コロナ禍の訪問活動 (総件数 113件)



①電話訪問で喜ばれる(29件)

- ・自粛により人との会話が少ないため、電話でも大変喜んでいただけた。
- ・電話をかけると大変喜ばれる「今日初めて人と会話をした」と言われる。
- ・ひとり暮らしで病気の方、日々の生活が苦しい中、電話を喜んでいただき、良かったと思った。
- ・今回の電話に「また電話ください。少し気が和らぐ」と言われる。
- ・久しぶりに電話できて、状況がわかって良かった。皆さんに喜んでいただいた。

②電話に出られない方が多い(22件)

- ・何度かけても電話に出られない方が多く、時間帯を変えてかけ直し、訪問した。
- ・電話契約を解約している人が多く、つながらない。
- ・電話連絡が取れなかった人たちを訪問、電話に出るのが怖かったという人がいた。
- ・ひとり暮らしの方は、電話をかけても最初は警戒して出してもらえず、二度、三度かけ直した。
- ・高齢で電話に出られない方が多く、訪問でも足が悪いなどで出られない方が心配。
- ・登録した電話にしか出ない設定にしている。

③ポストイングの効果(29件)

- ・電話がなく訪問したが留守の方にはチラシをポストイングした。
- ・ポストイングを何度かしていると、何度もお礼を言われ恐縮する。些細なことが励ましになれば。
- ・メッセージカードにポケットティッシュを同封してポストイング。
- ・前もって資料や電話の日時をポストイングしておいたので、不審がられずに気持ちよく話をする事ができた。
- ・ひとり暮らしの方が多く、留守電にして出してもらえないことが増えた。連絡の取れない方にはポストイングした。

④民生委員としての対応(19件)

- ・耳が聴こえづらい方に電話やインターフォン越しの話はしづらかった。
- ・電話ではなく、従来の近隣見守り(見廻り)活動を中心に実施。話しはしづらかった。その結果、亡くなった、施設に入所されたとの情報が近隣の方から得られた。やはり、電話だけでは?
- ・困りごとがあれば携帯に電話するように伝える。
- ・緊急のたびに安否確認をしていると、非常に頼りにされるのが辛く感じる。ここ一番でこれだけのことができるか不安になる。
- ・何度電話してもつながらない方1名、包括に調査を依頼、検査入院中との連絡あり。
- ・家族が入院したり亡くなったりして元気のない方が、続けて訪問することで明るくなって、とても嬉しい。

⑤訪問に対する反応(7件)

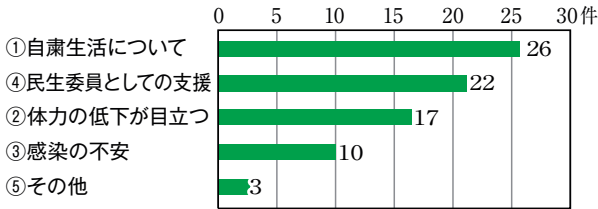
- ・何のための電話か理解できない人がいる。
- ・今回、過去2回の電話をした時よりも、皆さんストレスをためているように思った。

⑥その他(7件)

- ・緊急事態宣言下で生活状況の安否確認は難しい。
- ・電話による安否確認で、感染の心配はないが、対応には不安があり、安否確認にはならない。

新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等に対する見守り及び安否確認を実施して **特集**

B. 高齢者への支援 (総件数78件)



①自粛生活について (26件)

- ・もともと、うつ症状で通院していた方、外出自粛で家から出られなくなり、近所の人とも話す機会が減り、うつ傾向がひどくなってきている。委員が訪問したり電話したりすることを伝える。
- ・買い物や通院以外の外出は控えているので、運動不足やコミュニケーション不足が気になった。
- ・独居で娘も来てくれない、ヘルパーは週 2 回とのこと。宣言が解除されたら一度訪問したいと思う。電話では聞き取りにくく、缶詰ばかり食しているとのこと。
- ・今まで通っていたデイサービスに行きたくないとのこと、家でずっと寝ている。
- ・今まで訪問介護や理学療法のリハビリを利用する方が増えている。
- ・外出できない方はかなり不安なようで、顔を見せると嬉しそうだった。
- ・夫の介護に疲れている方の話しに心が痛む。
- ・施設で感染して自宅療養をしている方、施設での感染者が出てデイサービスを休んでいる方などあり、コロナが身近なことと感じた。
- ・外出自粛が長期になり対象者によってはストレスと体力低下が重なり、生きる希望が失われているように感じた。
- ・一人暮らしだと人と会って話す機会が減り、ストレスがたまる。
- ・自粛生活のため、足腰が弱る、会話が減るなど、日常生活や今後への不安の声を聞く。
- ・ヘルパーさんや訪問看護の方が来て、話を聞いていただいたりして、少しストレスが解消したとのこと。
- ・入院中の母親にコロナ禍で会えないのが不安。外出できなくて家にばかりいるので気分が落ち込む。

②体力の低下が目立つ (17件)

- ・コロナ禍で体力が低下している人が多い。
- ・足腰が悪いところへコロナでデイサービスが閉鎖となりますます動かなくなって痛みもひどくなってきた。
- ・1ヶ月ほど前にトイレに行こうとして転び、10日前にも転んだ。
- ・健康面が不安である。手足のしびれがあり病院に行くのも不安。
- ・持病のある方は進行の不安を話される。
- ・運動不足で下肢筋力の低下を実感している。

- ・出かけることが少なくなり、足が弱って遠くまで歩くことができなくなった。
- ・外出や人との交流が減ったため気分の落ち込み、運動不足による体の機能の低下を訴える方が前回より増えた。

③感染の不安 (10件)

- ・前は元気でも、今回は感染者数の増加で病院に入れないなど不安になっている人が増えた。
- ・感染が怖いのでワクチン接種を終えるまでデイサービスを利用しない。
- ・クラスターが怖いのでデイサービスに行けない。
- ・感染拡大を重く受け止め、身近に迫ってきている感じが怖い。
- ・デイサービス等の利用が怖く休んでいるが、フレイル傾向になっているように感じる。
- ・入院していたが、コロナ禍を恐れて医師と相談の上退院したものの不安で、再入院できるかは未定。
- ・施設で感染して自宅療養している方、施設での感染者が出て、デイサービスを休んでいる方などがあり、コロナが身近なことと感じた。

④民生委員としての支援 (22件)

- ・今年は毎年 5 月に実施しているお元気ですか訪問に行けていないが、外で会った際には健康状態や日常生活の様子を聞いている。
- ・近所の人と会話する機会がなく、精神的に揺れていると感じることがあった。週 1 回でも良いので訪問するか電話をかけるのが良いと思う。デイサービスの利用を伝えるが、一度入院した後で勇気がない。閉塞感の社会に悔やんでいた。
- ・93 歳の一人暮らしの男性、他県に住んでいる家族が心配して毎日電話するが、あまり出ないので気になる。家族から見守り確認の依頼があれば訪問することになる。
- ・訪問したとき、週 2 回ヘルパーが来ているとのことだったが、家の中を見て不安になったので、包括に相談した。
- ・マンション住まいの80歳女性、骨折して困っていたので、自分の携帯を登録してもらい、いつでも電話するように伝えた。接種に関することだけでなく日常生活の応援も約束した。
- ・生活が制限される中、不安を感じている独居の方が多く、緊急通報システムの設置を勧めた。
- ・緊急事態宣言延長とワクチン予約の問題もあり、電話は長時間、複数回かけてサポートした。

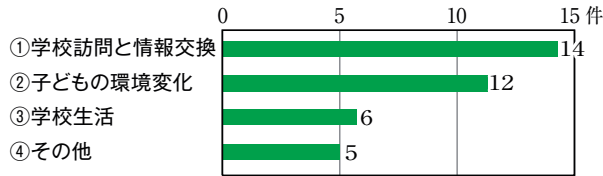
⑤その他 (3件)

- ・家族が亡くなった (コロナではない) がコロナ禍なので近所には言っていない。

特集

新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等に対する見守り及び安否確認を実施して

C. 子どもへの支援(総件数 37件)



①学校訪問と情報交換(14件)

- ・小学校の校長と打ち合わせをした。母子寮等の施設を出た後、安定した生活をしているのか確認、応援が必要ではないかと心配されていた。
- ・中学校、小学校へ新任校長、教頭との顔合わせ、挨拶。
- ・子ども食堂の実施状況、現状の確認。みんなの子育てひろばの実施状況確認。保護者のコロナ禍での過ごし方聞き取り。
- ・小学校、中学校、こども園と情報交換。自粛期間が延びたことでの家庭環境の変化に注意いただき、情報共有・見守り継続について確認した。
- ・小学校、幼稚園、こども園と面談。幼稚園では未就園児のイベントができてなく今後の課題。
- ・幼稚園、小学校、中学校に電話で状況確認した。小学校では図書館での読書禁止(貸出のみとする)中学校では部活が思うようにできていないなど、子どもたちも我慢の生活。一番困っているのは未就園児の母親で、子育て広場など、友達を作ったりする場所が全て閉鎖で、家の中で子どもだけ過ごす生活は精神的にきついよう。
- ・小学校、中学校に電話して子どもたちの様子など聞いた。不登校気味の子どもには、学校としても丁寧に対応していきたいとのことで、何かあれば協力すると伝える。
- ・小学校、中学校、こども園訪問による情報交換、シニアクラブの担当地区会員に対しての安否確認を行った。
- ・小・中学校校長と面談。両校とも陽性者が出ているが、保健所の判断で休校にはしていない。陽性者・濃厚接触者に対する差別やいじめは見られない。
- ・学校と連携しての、ケース会議対象の小学生の状況確認、不登校児童・生徒の状況確認、対応を検討。

②子どもの環境変化(12件)

- ・通っている保育園で感染者が出たのに、園に連絡しても職員なのか保護者なのか園児なのか教えてもらえず、園に対して不信感をとの相談を受け、保護者は色々な面で不安等が高まっていると感じた。
- ・普段から相談を受けている家族、校区内の幼・小・中、K大の子ども食堂の教授・学生、それぞれ活動面の縮小等の中、今までとは違ったアプローチで子どもたちとの関わりを大切に考え、指導されていた。
- ・児童、生徒、保護者にゴールデンウィークや週末の様子を聞く。生徒には部活動のことなどを確認。
- ・不登校児童について小学校から連絡があった。スクー

ルカウンセラーが入って見守り中。

- ・見守りをしている不登校生徒の自宅訪問はできなかったが、家族に会えて少し様子を聞いた。

③学校生活(6件)

- ・不登校だった高校生、フリースクールに行き始めて保護者も明るくなった。オンラインが対面で人と関わるきっかけになった。
- ・不登校の小学生、学校の対処で元気に登校している。
- ・登校時にマスクが外れている子への対応等、感染予防への配慮をしている。子どもの表情等の観察は今までより気を使って体調を崩している場合は先生に伝えた。
- ・出席停止の児童・生徒には、授業をそのまま映したものを自宅タブレットで視聴可能にしているが、オンライン授業ではないので、黒板が見えづらかったり、教員の机間巡視中は画面が進まなかったり、充分とは言えないとのこと。
- ・新小学1年生の登校時等の支援。

④その他(5件)

- ・乳幼児がいる家庭では、買い物に苦勞している。
- ・3人の子どもがいるシングルマザー、感染のリスクが高い職業についているので気にかかり、今後も見守っていききたい。
- ・スマイル訪問の乳児は公園、サークルにも行けず、家の周りの散歩のみで、母親にもストレスが。

D. 障害者への支援(5件)

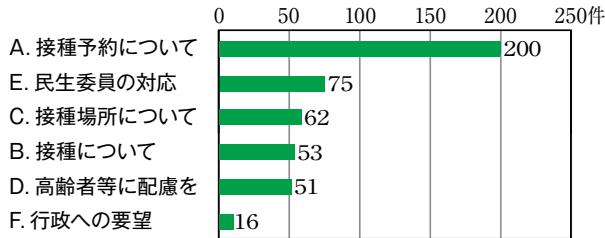
- ・子ども2人と住んでいる家庭があり、2人は手話でないと話ができないので困っている。
- ・コロナが心配で病院に行くにも気をつかう。週3回透析を受けているので、付き添いの人にも迷惑をかけてしまうと気をつかい疲れる。
- ・聴覚障害者の方、人との接触を避けるため、通勤は地下鉄に乗らずに歩いている。
- ・介護や作業所に通っている方は、他の人と関わりがあるが、電話のない方は心配。

E. 行政への要望(13件)

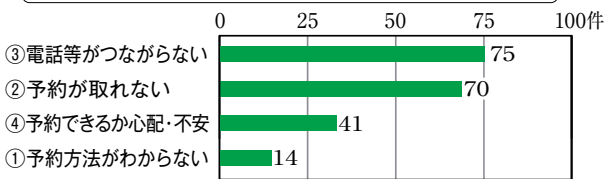
- ・高齢者のいる家庭としては、事前に役所から連絡してきて欲しいと言われた。
- ・要支援者連絡先の新しい名簿を作成して欲しい。
- ・堺市は何もしてくれないとの苦情ばかりで、対応困難。
- ・前回のように名簿登載者へのお知らせをしておいて欲しかった。民生委員と言っても突然の電話を疑うような声で、電話をかけるのが気が重い。

新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等に対する見守り及び安否確認を実施して **特集**

2. ワクチン エピソード (総件数457件)



A. 接種予約について (総件数 200件)



① 予約方法がわからない (14件)

- ・ 予約方法がわからなかったり、電話をかけてもつながらなかったという人が多かった。
- ・ ひとり暮らしの高齢者には予約が難しい。もっと簡単な方法はないかと思う。

② 予約が取れない (70件)

- ・ 予約したくても電話が繋がらない。つながっても予約がいっぱいで取れない。
- ・ 予約が取れない。ネットはできないし電話は繋がらないとの苦情が多かった。
- ・ 予約が取れない不満が多数。選挙のようにハガキを持って行けば接種できるように改善してほしいとの意見あり。

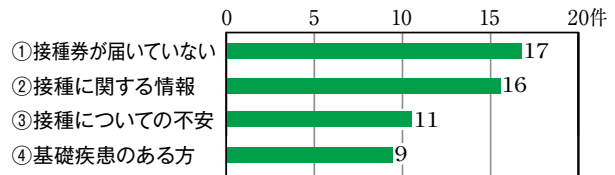
③ 電話等が繋がらない (75件)

- ・ 予約の電話が繋がらない。インターネットもできない。ナビダイヤルで費用がかかる。
- ・ 予約したくても繋がらない。いつまで待たばいいのかわからない不安になる。
- ・ 予約の電話が繋がらず、何百回とかけ、かえて病気になる。
- ・ 予約の電話を何度かけても繋がらないので区役所まで行った。予約をどうしたらいいのか、うつになる。
- ・ 予約の電話が繋がらないことで怒りが一杯。さまざまな対策を何とかしてほしい。

④ 予約できるか心配・不安 (41件)

- ・ 身近にメールや電話で予約を取ってくれる頼れる人がいない高齢者は不安を抱えていた。
- ・ 接種を希望するが、ネットは使えず、電話は繋がらずで、予約できていないのが現状。
- ・ 高齢者だけでは予約が取りにくく、家族や近くの親戚に手伝ってもらって予約したとすることで、高齢者本人が楽に予約できるように考えて欲しい。

B. 接種について (総件数 53件)



① 接種券が届いていない (17件)

- ・ 接種の用紙を紛失、または届いていない等で再発行。
- ・ 接種券が届いておらず、電話もつながらないとことで、民生委員が連絡した。

② 接種に関する情報 (16件)

- ・ 接種について、市や町内会から、接種日、場所の連絡があると思っている人が何人かいた。
- ・ 皆、コロナワクチンのことをわかりやすく知らせて欲しいとのこと。
- ・ 予約が始まる情報をほとんどの人が知らなかった。

③ 接種についての不安 (11件)

- ・ インフルエンザワクチンの際にも副反応が出るので、コロナワクチンの接種をするか悩んでいる。接種していないことが周りに知られ、何か言われなかと不安もある。
- ・ 接種を受けることに不安を感じている方もいたので、主治医の先生とよく相談するように伝えた。

④ 基礎疾患のある方 (9件)

- ・ 持病で服薬を続けている方が多かったので、接種できるかの確認をするように伝えた。
- ・ 膠原病で通院中。接種案内がいつ届くかと思っている。できれば早期対応を。

C. 接種場所について (総件数62件)

① かかりつけ医 (36件)

- ・ 接種予約が取れずに困っておられた方に、近くの診療所がかかりつけでなくても接種してくれると伝えたところ、予約が取れたと喜んでくださった。
- ・ かかりつけ医に接種を断られた。集団接種会場までは遠く行き帰りに不安がある。
- ・ 医療機関で直接予約するにも、カルテのない人はダメ、いま受診している人でないとダメなど、病院によってばらつきがある。

② コールセンター (16件)

- ・ コールセンターに何度も電話したが繋がらない。もう少し考えてほしい。
- ・ オペレーターの対応の悪さについて、社協、行政から改善を求めてほしい。

特集 新型コロナウイルスによる外出自粛の高齢者等に対する見守り及び安否確認を実施して

D. 高齢者等に配慮を(総件数51件)

- ①簡単に接種が受けられるように(22件)
- ・皆さん、申込方法に対する不安、不満を口にされた。申込に協力してもらえない方は不安な様子。高齢者に配慮ある申込方法を考えるべきだと思う。
 - ・申し込みが分からなくて、子どもに頼んだ。何回かけてもつながらない、200回かけてやっとつながったと、子どもが言っていたなどの声があり、高齢者にもっと良い方法があればと思う。
 - ・予約をしなければならないことを知らず、接種日時にハガキが届くと思っている人もいて、高齢者にとってもっと簡単な方法、地域ごとの接種などでないと、希望者全員が接種することは難しいと思う。
 - ・多くの方が予約の電話を何度もかける、長時間並ぶなど大変で、高齢者にもう少し優しい方法はなかったのかと思う。

②外出困難者への対応(12件)

- ・一人では外出できない方の接種時の対応について、堺市の担当課はどこになるのか。
- ・母親は要介護5で動けず、訪問診療を受けている。父親は認知症、介護する娘さんから、ワクチン接種を自宅でしていただけないかとのこと。
- ・高齢者だけでは予約が取りにくく、家族や近くの親戚に手伝ってもらって予約したとのことで、高齢者本人が楽に予約できるように考えて欲しい。

③障害者の接種は作業所で(6件)

- ・作業所に通っている方の家族より、接種に関して本人が色々理解しがたいこともあり、生活範囲である作業所等で実施してもらいたいとの要望あり。
- ・障害者の保護者より、接種場所について、本人がマスクを着けたがらないので作業所等で受けることを希望する。



E. 民生委員の対応(総件数75件)

- ・主に郵便ポストへのコロナワクチン接種に関する情報提供を実施。
- ・ワクチン接種についての知識、意識が低いように思われた。予約が必要なことを理解していない方もおられ、もう少し簡単な説明があるのでと感じた。できる限りの説明はしたが、電話でのやり取りには限界があった。
- ・接種拒否や検討中の方がいたので、かかりつけ医があれば相談するようにすすめた。
- ・接種してもらえる病院が分らないという人にはかかりつけの病院を聞き説明した。取扱い病院の一覧の文字が小さくて年配の方には無理がある。
- ・予約がなかなか取れないという方が多かった。通院しているところに聞くように勧めると、取れたという返事があった。
- ・常に気にかけてくれる人(家族・友人・近所の人)が周りにいる人は予約方法がわかっていたり予約できたりするがそうでない人にはいろいろ説明した。
- ・接種の予約等で混乱している中での対応で難しい面もあったが、安心材料を提供した。
- ・一人暮らしの高齢者から接種券をなくしたとの相談を受け、区役所の情報提供コーナーで再発行の手続きをすることを伝える。
- ・予約方法がわからない人、数人を予約につなげることができた。
- ・委員自身の両親の予約を経験した上で、電話をかけ、スムーズな予約方法を伝える。
- ・予約に関する相談が多く、ネット予約の方法などスムーズな予約方法を伝える。

F. 行政への要望(総件数16件)

- ・高齢者がもっと簡単に接種が受けられるようにしてほしいとの要望あり。(小学校単位で一斉に行うなど)
- ・高齢者を接種会場に連れて行かないといけな同居の家族の方が、一緒にワクチンを受けられることを望んでいる。
- ・独居の高齢者より、接種のしおりについて、広報の折込みだとそのまま捨てる場合があるので、できれば一面表紙に提示してほしいとの要望あり。
- ・電話がつながらず予約が取れない人がほとんどで、ネット環境のない方もあり気軽にできるようになるまで、あきらめたという方もいて、高齢者には問題が多いように思った。
- ・連休中で役所に電話してもつながらない、不親切。
- ・対象者全員予約が取れておらず、心配、不満が多く聞かれた。堺市も、この時期に見守り活動を依頼するのなら、既存の「接種のしおり」を同封するだけでなく、現状を考慮して、予約できない人に対して詳しい情報や対応要領を提示すべきである。

スキューバダイビング

上野芝校区 中西 雅志

55歳の時に、退職後に豊かな老後生活を送れるように一念発起して、夫婦でスキューバダイビングの資格を取りに行きました。

資格を取ってから、毎年夏に3泊4日で沖縄本島や石垣島に行き、午前中に2本、午後から2本の計4本、2日間で8本潜りました。

クルーザーでポイントを移動して潜るのですが、慶良間諸島周辺や青の洞窟など色々なダイビングポイントに連れていってもらい、景色を見ているだけでも値打ちがありました。

石垣島の名勝川平湾かひらわんが何故遊泳禁止なのか知っていますか？川平湾周辺の潮の流れが速く、あっという間に遙か遠くまで流されて命を落とすことがあるからです。

そこに「マンタスクランブル」と言う有名なポイントがあり、そこでは、みんな海の中の岩にしがみつき、潮に流されないようにひたすらマンタが来るのを待つのです。マンタはゆったりと泳ぎ、とにかく大きく感動です。

沖縄の海は透明度が高く、潜っていても海の中にいるのを忘れ、無重力地帯で浮かんでいるような感じになります。

ダイビングをする人は、若者がほとんどですが直ぐに仲良くなり、夕食を一緒にバーベキューなどで会話もはずみ、楽しい時を過ごしました。

ダイビングは、楽しいですよ。ウミガメとも一緒に泳げますし……。



かわりゆく地域の風景

黒山校区 天見 文昭

当校区東端に「堺市総合防災センター」が本年4月オープンしました。元々、ため池があった所で、私が小学生の頃（60年近く前）は隣接する舟渡池公園ふなといけはまだ整備前で、「危険だからこの周辺では遊ばないように」と学校から注意されていた記憶があります。

こののどかな田園地帯であった頃から様変わりをとげたのは、私が高校の頃までに整備された国道309号線の開通によるものです。大阪市・松原市から南河内方面へ通ずるこの幹線道路の影響は、これまでの周辺地域の発展状況をみると非常に大きなものであります。

そして現在では、幹線沿いに昨年9月オープンしたホームセンターや今秋オープンが予定されている大型商業施設の立地など、堺市内でも有数の商業地域へ発展しようとしています。

今後、このような施設で働く人たち、特に若い世代の人口の増加も見込まれる地域ですが、地域の防災対策は万全であろうか。この総合防災センターの開設を機に、市民一人ひとりの防災に対する意識を深めると共に、民生委員児童委員も参加して地域での防災対策への取り組みについても進める重要性を感じています。

皆さんの自由投稿
お待ちしております

エッセイ、川柳、短歌、俳句、など日常の感慨や貴重な体験談を、また民生委員児童委員連合会にたいするご意見やご質問などお寄せください。

みんじれん堺 編集委員会

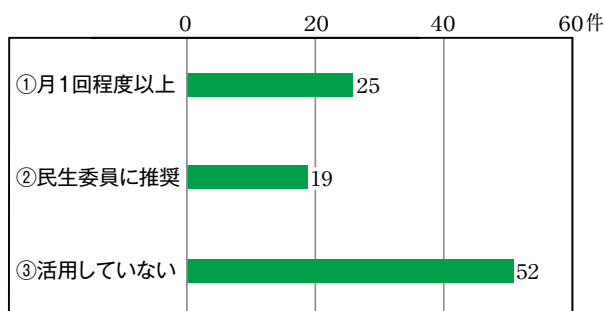
「民生委員児童委員活動におけるICTの活用に関するアンケート」集計 ～民生委員児童委員専用ホームページ活用のすすめ～

新型コロナ禍において、民生委員活動や定例会議の実施方法に大きな影響を及ぼしています。堺市民生委員児童委員連合会の運営においても、各種会議の書面開催、動画研修への変更など、感染拡大防止を優先した対応・工夫を行っています。堺市民児連では、これまでも民生委員活動や連合会の運営を円滑に行うため、「民生委員専用ホームページ」を開設するなどICTの活用を進めてきました。コロナ禍をきっかけに、今後はさらにホームページ・メール・オンライン会議などICTの活用やしきみが必要となります。今後のICTの活用方法としきみを検討することを目的に、校区民生委員長を対象に「ICTの活用に関するアンケート」を実施しました。

○民生委員児童委員活動におけるICTの活用に関するアンケート（集計）

【実施期間】令和3年10月～4年1月末 【回収状況】86件（回収率92%）

【設問1】堺市民児連「民生委員専用ホームページ」の活用状況について(複数回答)



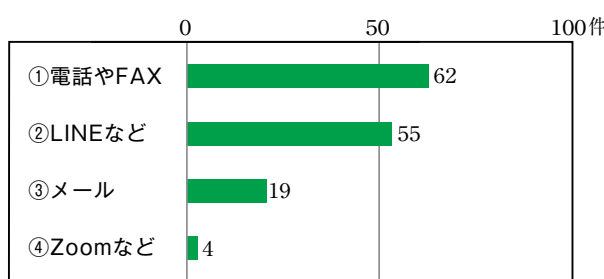
(活用している場合の意見・工夫・提案など)

- ・校区委員への配布物コピーにPDFデータを利用している。
- ・配付資料は減らして詳細はホームページを見るよう案内。
- ・各種様式の取得、研修動画の閲覧、活動報告書をメール送信。
- ・加工可能なデータ、校区活動や行事の動画、区民児協ごとのページ、関係機関の連絡先の一覧があると、活用の幅が広がる。

(活用していない意見)

- ・資料や案件周知は文書の方が共通理解できる。
- ・インターネットやホームページ不慣れ、やり方を忘れる。
- ・もっと必要性をアピールして欲しい。再周知。

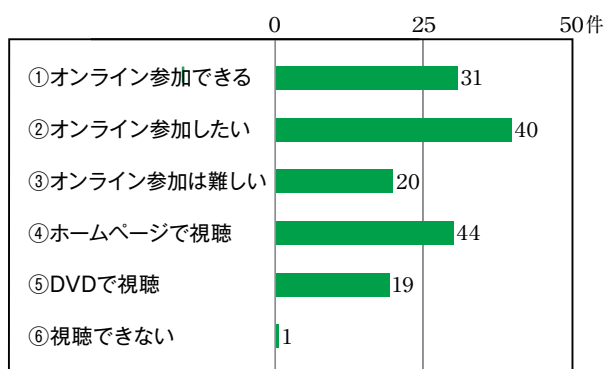
【設問2】会議や対面以外の民生委員相互の情報伝達や情報共有の方法について(複数回答)



(情報伝達の工夫・意見)

- ・電話の連絡網作成、主に電話で情報伝達・共有を行う。
- ・簡単な連絡はショートメールで行い、詳細は電話。
- ・LINEグループを作成、日常的に活用。働く方にも便利。
- ・各委員の希望に沿ってLINE・メール・電話を併用。
- ・基本は対面で、顔を合わせて話をした方が理解できる。
- ・堺市民児連がオンライン化を進めているので、慣れてもらうように勧めている。
- ・LINEやZoomの講習会を考えている。

【設問3】オンラインによる会議・研修の参加方法と動画研修の視聴方法について(複数回答)



(オンライン会議の工夫・意見)

- ・オンラインによる研修や会議は少人数での活用が有用。
- ・オンライン会議の操作等が簡単になればもっと参加しやすい。
- ・カメラ、マイク、Wi-Fi環境を整備。スマホでも参加できる。
- ・Zoomやビデオ会議に参加できるよう、校区で勉強会を企画。
- ・出来る人と出来ない人がいる、Wi-Fiのない人もいる。

(動画研修の工夫・意見)

- ・動画研修は、期間内であれば時間を選ばないので便利。
- ・最近のPCはDVD利用が出来ない。YouTube利用が主体。
- ・自宅での動画視聴は可能だが、長時間は負担が大きい。
- ・単位定例会で、動画を使った研修もありではないか。
- ・オンライン研修が難しい委員もいるのでDVDも必要。

〇堺市民児連ホームページ「民生委員専用ページ」の活用方法と手順

アンケート結果より、民生委員専用ホームページについて、「定例会用の資料が掲載されていて便利」「各種様式をダウンロードできる」など、便利に活用している委員長もいますが、60%の委員長が「活用していない」と回答しており、「インターネット環境がない、慣れていない」「ホームページのアクセスの方法

が分からない」といった意見に加えて、民生委員専用ホームページを「もっとアピールしてほしい」という意見がありました。また、9割の民生委員長がメール連絡可能とのことでした。今後はメールとホームページでの情報発信を組み合わせ、情報共有のしくみをすすめていきます。

ホームページへのアクセスと活用方法

①検索

堺市民生委員児童委員連合会

堺市社会福祉協議会

堺市民生委員児童委員連合会

②クリック

民生委員児童委員専用ページ

このサイトにアクセスするにはサインインしてください
https://www.sakai-syakyo.net には認証が必要となります

ユーザー名

パスワード

③入力 サインイン キャンセル

=ホームページへのアクセス方法=

【パソコンの場合】

- ①「堺市民生委員児童委員連合会」で検索
※「堺市社協」のホームページから入る場合は、左下へ移動
- ②「民生委員児童委員専用ページ」をクリック
- ③共通の「ユーザー名」「パスワード」を入力
→「サインイン」をクリック

【スマートフォンの場合】

- スマホのカメラ機能で右のQRコードを読み取る
- ※ユーザー名、パスワードが不明の場合は、民児連事務局までお問い合わせください。

=ホームページの活用方法=

- ◆新着情報・お知らせ
 - ・民児連事務局や行政から民生委員への情報やお知らせを掲載しています。
- ◆研修動画・研修情報
 - ・動画研修や説明の様子をYouTube動画でご覧ください。資料やアンケートも掲載。
- ◆毎月の会議資料
 - ・民生委員長会議の資料を閲覧できます。
 - ・校区定例会に配布する時の印刷も便利です。
- ◆様式集
 - ・活動記録や報告書、互助共励事業、訃報連絡票などの様式がダウンロードできます。
- ◆会則・諸規程・マニュアル
 - ・堺市民児連の会則や規程を確認できます。
 - ・訪問用のチラシ（データ）も活用ください。

民生委員児童委員専用ページ

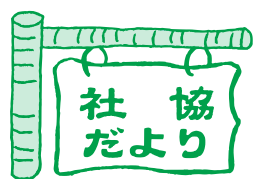
新着情報

研修動画
研修情報

会議資料

様式集

会則・規程



さかい子ども食堂ネットワーク 「ひろがる子ども食堂の“わ”」

堺市社会福祉協議会
地域福祉課地域共生推進係
係長 増岡 智典

地域みんながつながりあえる場として、子ども食堂は地域の子どもたちや地域の方々に食事と居場所を提供しています。子どもたちを見守り、必要に応じて支援機関につなぐ役割も果たしています。コロナ禍においても、お弁当の配布など形を変えて多くの子ども食堂が活動しています。

子ども食堂の輪が全国に広がっており、その数はこの5年で約1.8倍以上に増え6,000カ所を超えました。堺市でも74団体の子ども食堂が活発に活動をしています。ネットワークが主催する「さかい子ども食堂円卓会議」は年3回開催され、肩書や立場を超えて子ども食堂についての意見や思い、情報を共有しています。円卓会議の合言葉は「自主・自由・活発・協働」です。

子どもたちの「地域の居場所」である子ども食堂。「交流の場」「体験の場」「つながりの場」である子ども食堂の実践は、SDGsの「誰一人取り残さない世界の実現」というスローガンとも重なっています。

堺市内において、現在子ども食堂は92校区中49校区（充足率53%）にあります。堺市全ての校区に地域の居場所である子ども食堂があることをめざしています。民生委員児童委員のみならず、子ども食堂の立ち上げや活動へのご支援やご協力をお願いします。

（数値は令和4年4月末現在）

御霊よ安らかに

R3. 10.17没 浅香山校区 中島 良治様

R4. 4.11没 金岡校区 下岡 文子様



《編集長》

三宝校区 河村 博史

《副編集長》

深井校区 南 埜 昌市

さつき野校区 藤田 吉保

《編集委員》

深 阪 校 区 多 田 光 生

日置荘西校区 石橋 忠 泰

登美丘西校区 星 忠 宏

上野芝校区 秋元 さつき

鳳 校 区 龍 野 信 隆

美木多校区 八 田 茂 徳

庭代台校区 橋 本 京 子

東浅香山校区 山 口 久 志

新金岡校区 曾 田 富 美 男

金 岡 校 区 増 田 紀 夫

さつき野校区 津 田 裕 己



美原区に「堺市総合防災センター」が開設されました。

堺市で初となる市民体験型防災学習施設、消防職団員のための消防救助訓練施設などがあり、大規模災害発生時に対応できるようになりました。

私たち民生委員児童委員は地域住民の方々の良き相談相手になれるように努力していますが、やはり一番頼りになるのは近所の方々です。まだまだコロナ終息が見えないなかではありますが、地域で活動されていることを「みんじれん堺」に投稿され紹介されるようにお願いいたします。

（山口 久志）